■企画展

「生活絵巻に見る高橋余一のまなざし－よみがえる明治から昭和－」展

（1）趣旨

高度成長期、世相の急激な移り変わりとふるさとの変化を感じ取った高橋余一は、古井町の生業・風俗・遊び・祭礼などを中心に19巻の巻物「生活絵巻」を描きあげました。この絵巻は、場面数380点、総延長96メートルに及ぶ膨大なものです。この地域だけでなく、当時の風俗を伝える貴重な資料として、1993(平成5)年には美濃加茂市の指定文化財となりました。

この展覧会では、時代ごとの風俗を描き残そうとした絵巻から、子どもの遊びや祭りを中心にご紹介しました。

（2）会期等　　2001（平成13）年4月14日（土）～5月13日（日）
　　開催日数25日間

（3）観覧料　　一般300円（200円）、小中学生150円（100円）
　　（　）は20名以上団体料金および、かるちすとくらぶ料金

（4）会場　　企画展示室

（5）展示点数　　市指定文化財「高橋余一画 生活絵巻」ほか

（6）関連事業

①懐旧談議（かいきゅうだんぎ）　古井町の移り変わりと高橋余一
（2001年5月3日13:30～16:00／会場：生活体験館／参加料無料）
古井の町や高橋余一のことなど、明治～昭和の移り変わりを古井の皆さんの思い出をもとに語っていただきました。

②獅子舞とハイボウの実演
（2001年5月12日／会場：生活体験館）
出演：平成13年度下古井の氏子（神明東自治会）の皆さん
古井神社に伝わる芸能を上演していただきました。

②「高橋余一が見た民俗芸能」
（2001年5月12日13:30～15:30／
会場：緑のホール／参加料無料）
講師：伊東久之氏（岐阜大学教授）
美濃地方の祭礼に詳しい伊東先生をお招きして、生活絵巻に描かれた古井の祭りが、美濃の祭りの中でどのような位置を占めどのような特色を持つのかなどについてお話ししていただきました。

（7）図録　　『生活絵巻に見る高橋余一のまなざし』　A5判　14頁